

めざす児童生徒像

- ・明るく元気な挨拶や大きな声で歌うことができる児童
- ・自分や友だちのよさを認め、自信をもって行動することができる児童
- ・学ぶ意欲があり、確かな学力（基礎基本・思考力・記述力・発表力）を身につけた児童

※差①児童結果-教員結果 差②児童結果-保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	中間				年度末				達成状況の分析	改善策		
				数値・アンケート結果 (%)			※差①	※差②	数値・アンケート結果 (%)					※差①	※差②
				教員	児童生徒	保護者			教員	児童生徒	保護者				
学校重点項目 (学校で設定)	学意欲の向上	各ポイントを85%以上にする	① 学校は楽しい。	89.8	97.7	-7.9	89	98.4	-9.4	中間評価同様、①②の項目では高い結果を示している。特に②の学校の勉強がわかるの項目は97.6と高い数値であった。しかし③④の学校研究である算数と外国語が好きかという項目ではどちらも目標値に達していなく、また中間評価と比べると算数は上がったが、外国語は下がってしまう結果であった。	・学校の勉強が分かるが、算数や外国語は好きではない、と感じている児童が何人かいる。分かる授業から、分かって楽しいと感じる授業にするために、教材の研究、工夫が必要である。 ・今後も、主体的・対話的な授業づくりを推進し、どの子も授業の中で活躍できるように授業改善に努める。				
			② 学校の勉強がわかる。	95.3	96.9	-1.6	97.6	97.6	0						
			③ 算数が好き。	79.5			83.5								
			④ 外国語活動が好き。	83.3			77								
			集計	87	97.3	-9.5	86.8	98	-9.4						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)				数値・アンケート結果 (%)				達成状況の分析	改善策		
				数値・アンケート結果 (%)			※差①	※差②	数値・アンケート結果 (%)					※差①	※差②
				教員	児童生徒	保護者			教員	児童生徒	保護者				
学校重点項目 (学校で設定)	自己肯定感の向上	各ポイントを85%以上にする	① 自分にはよいところがあると思う。	82.8			91.3			全ての項目で目標指標を達成できた。①②の「自分にはよいところがあると思う」「友だちのよいところを見つけ助け合っている」は中間評価と比べると数値は上がったが、③⑤の「先生、保護者はよいところを認めてくれる」「挨拶をしっかりとっている」は下がった。特に教師は挨拶運動以外の場での挨拶を前回同様課題と感じている。	・道徳、学活、各教科等の日々の授業の中で認め合う授業の充実に取り組むとともに、児童と向き合う時間の確保のための業務の精選に努める。 ・スピーチ大会、学年発表等、活躍・評価できる場を多く設ける。 ・挨拶運動の全校的な取組をさらに検討し、家庭や地域、集団登校の中での挨拶の徹底、普段からの自然な挨拶ができる子の育成を目指し、家庭、地域と連携して進める。				
			② 友だちのよいところを見つけ助け合っている。	91.4			95.3								
			③ 先生、保護者はよいところを認めてくれる。	A8/B1 100%	95.3	96.1	-4.7	A8/B2 100%	90.6			98.4	-9.4	-7.8	
			④ 学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある。		95.3			95.3							
			⑤ 挨拶をしっかりとっている。	A2/B7 100%	97.7	89.1	-2.3	B8/C1 89%	95.3			92.9	6.3	2.4	
			集計	100%	92.5	92.6	-7	7.8	95%			93.56	95.65	-3.1	-5.4

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)				数値・アンケート結果 (%)				達成状況の分析	改善策		
				数値・アンケート結果 (%)			※差①	※差②	数値・アンケート結果 (%)					※差①	※差②
				教員	児童生徒	保護者			教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	指導力の向上 (小松市共通項目より本校が選択して取り組んだ項目)	①④⑤を80%以上にする	① 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	A9 100%			A7/B2 100%			目標指数は①④⑤と肯定的評価100%で目標を達成することができた。 ④年間計画通りに全員が研究授業を行うことができた。2学期からは外国語の研究授業にも取り組んだ。指導案検討や授業整理会等での研修に加え、32年度からの新学習指導要領の全面実施を見据えた校内研修も多々行った。 ⑤肯定的評価は100%であった。9月の要請訪問を受け、「今後の算数で意識すること」をまとめ取り組んだり、「整理会のまとめ」の共通実践項目に取り組んだりしながら、主体的・対話的な学びのある授業に努めることができた。ただ、Aの人数が2人減少した。2学期から外国語活動・外国語の研究の方に比重が移り、算数は各担任裁量によるところが大きかった。 ②児童は、中間よりも1.6%減少したが、87.4% (はい48.8%, まあまあ38.6%) で目標は達成した。教員はA1人、B6人、C1人であった。 ④児童は中間よりも2.3%減少したが97.7% (はい86.7%, まあまあ11.6%) で高い達成率であった。教員はA5人B3人と、中間評価と同じで肯定的評価100%であった。 ⑥は達成率64%で、目標指数70%を達成できなかった。70%を達成した学年は2学期であった。2学期から、チャレンジタイム等を利用し、活用問題を複数体制で指導した。また、「活用問題が解ける子になるためのシート」を活用し、単元構想を立てることを共通理解指導に当たったが、64%という結果であった。 ②経年的な学力調査の分析から、書くこと問題が弱いことが分かり、チャレンジタイムで書くことを中心に全職員が複数体制で取り組む。 ④計画的に3回小中連携の全体会と事前の打合せ会を行う予定であった。しかし、最後の全体会はできなかった。 ⑤国語が85%、算数が76%であった。国語は少し下がったが、算数は少し上がった。しかし、80%には届かなかった。 ⑥12月の学力調査では、市との比較で3年国語 (+0.7) 算数 (+2.8) 5年社会 (-2.4) 理科 (-10)、県との比較で5年国語 (-8.1) 算数 (-5) であり、学年間の差が顕著に見られた。 ①子どもと保護者の認識の差は、17.4%と差が少し縮まった。自学のやり方などを学校全体で共通理解を図り、お互いに刺激し合って良い学習につながってきたと考えられる。 ④重点項目は「目標学習時間をクリアする」ことであったが、10月は81.1%、11月は89.0%と目標の90%に近づいた。	④2,3学期に外部講師を招聘して、3校合同外国語活動・外国語研修会を開き、全教員で研修を行った。来年度は、年度当初に授業研究を伴う校内研修の計画を立て、1学期から外国語活動・外国語の研究授業に取り組むたい。 ⑤来年度は、県の研究指定2年目ということで、外国語活動・外国語の研究に絞って、全職員で共通理解しながら取り組むたい。今年度の算数科での学びを生かして、研究実践に取り組むたい。				
			④ 教員一人一人が授業研究を伴う校内研修を計画的に実施している	A6/B2 100%			A7/B1 100%								
			⑤ 主体的・対話的な学びのある授業に努める。	A6/B3 100%			A4/B4 100%								
		② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	A1/B7 100%	90.6	-9.4	A1/B6/C1 89%	87.4	-1.6							
		④ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている	A5/B3 100%	97.7	-2.3	A5/B3 100%	97.7	-2.3							
		⑥ 児童は、活用問題に取組み、目的に応じた解決ができる	63%			64%									
	家庭学習	①の達成率を80%以上にする ④の達成率を90%以上にする	② 学力の重点目標や取り組みは全教員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている	A6/B2 100%			A6/B3 100%								
			④ 学力調査の結果や分析について、近隣の中学校と成果や課題を共有し、教育課程に関する共通の取組を行っている (小中連携)	A4/B4 100%			A6/B3 100%								
			⑤ 単元末テスト (国・算) の平均点が80点以上の児童の割合が、80%以上となる。	89% 72%			85% 76%								
			⑥ 学力調査は、県 (市) 平均を上回る	4年+2.5 6年+4.3			3年+3.5 5年-16.5								
			① 自分で計画を立てて勉強している。(3年以上)	A1/B4/C1 83.3%	87.4	62.1	4.1	25.3	A1/B4/C1 83.3%	83.7	66.3	0.4	17.4		
			④ 家庭学習強化週間では重点項目を決めて取り組む。	5月 82.8% 6月 85.9%			10月 81.1% 11月 89.0%								